

政策 03 快適な生活を支えるまちづくり

施策 03 安全で安定した水の供給

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
安全で安定した水道水を使うことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	安全な水道水が供給されている割合(日数ベース)(%) 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	基準値
		100	100	100	100	(横ばい)
評価	(状況)水質についての日常及び定期検査において基準値を超える異常値がなく、安全な水道水を供給することができた。	<p>(%)</p> <p>H24 H26 H28 H30 R02 R04</p>				対
						前
						(横ばい)
						目
						標
						達成
						(達成)

指標	水道水供給事故回数(回) 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	基準値
		0	0	0	0	(横ばい)
評価	(状況)広範囲(100世帯以上)において水道水の供給に支障が出るような大規模な事故はなかった。	<p>(回)</p> <p>H24 H26 H28 H30 R02 R04</p>				対
						前
						(横ばい)
						目
						標
						達成
						(達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 安心な水の供給による信頼される水道（安全）

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	給水栓水質検査採水箇所数（箇所） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	
		4	4	4	5	(横ばい)
評価	(状況) 採水箇所数は前年と変わらず横ばいである。 (原因) 採水箇所追加の必要性について精査を行っている。					対前年度
						(横ばい)
						目標達成度
						(---)

基本事業01 安心な水の供給による信頼される水道（安全）

指標	直結給水比率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	
			77.7	78.1	77.2	(向上)
評価	(状況) 前年度実績値に比べ、現状値が0.4ポイント増加した。 (原因) 規模の大きな集合住宅が直結増圧給水に切り替えたことが大きな要因である。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(達成)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	配水管の老朽化率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	
		21.5	27.2	28.3	33.5	(低下)
評価	(状況) 成果指標である老朽化率（配水管総延長に対する布設後40年以上経過した配水管の割合）は28.3%で、令和3年度の27.2%より1.1ポイント上昇した。 (原因) 過年度に区画整理事業等により、積極的に整備した水道管の多くが法定耐用年数を迎え、老朽管の更新延長を上回ったことから、老朽化率が上昇した。					対前年度
						(低下)
						目標達成度
						(達成)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	幹線管路の耐震化率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R03)	(R04)	(R05)	
		30.3	36.9	37.5	40.4	(向上)
評価	(現状) 幹線管路の耐震化率は37.5%となり、令和3年度の36.9%より0.6ポイント増加した。 (原因) 平成23年度に策定した「幹線水道管耐震化基本計画」に基づく幹線管路の耐震化事業と北原山土地区画整理事業に伴う水道管の耐震化を実施したため。					対前年度
						(向上)
						目標達成度
						(---)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	有収率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【経営政策課】	95.2	94.3	93.7	96	☔ (低下)
評価	（現状）成果指標である有収率（給水量に対する使用水量の割合）は、93.7%で令和3年度より0.6ポイント低下した。平成21年度の97.57%をピークに低下傾向にあるため、今後も老朽管の更新事業や配水施設の適正な維持管理により、有収率の向上に努める。					対 前年度
		☔ (低下)	目 標 達成度			
						(---)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	応急給水拠点箇所数（拠点）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】	13	15	15	15	☀ (向上)
評価	（現状）目標値である15箇所を満たしている。 （原因）応急給水拠点の整備が全て完了したため。					対 前年度
		☁ (横ばい)	目 標 達成度			
						🏰 (達成)

基本事業03 いつまでも続く安定した水道（持続）

指標	総収支比率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【経営政策課】	121.0	120.6	120.7	100以上	☁ (横ばい)
評価	令和4年度の総収支比率は前年度と比較してほぼ横ばいの120.7%となった。 目標値の100%を上回り、健全な経営が行われている。					対 前年度
		☁ (横ばい)	目 標 達成度			
						🏰 (達成)

基本事業03 いつまでも続く安定した水道（持続）

指標	企業債残高対給水収益比率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【経営政策課】	39.5	34.9	32.6	300以下	☀ (向上)
評価	令和4年度は新規の起債がなく、計画どおり償還を行うことにより企業債残高が減少しているため、前年度より数値が下がっている。					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達成度			
						🏰 (達成)